

■小川芋銭 日本画家・漫画家。河童の画家として登場し、近代文人画表現というべき新しい画境を開拓した。

おがわうせん

明治維新・・・1868＝ 東京赤坂の牛久藩邸で、藩大目付小川賢勝の長男に生まれる。母は多い。本名茂吉。

廃藩置県・・・1871＝ 3歳：廃藩置県となり、父が農業で身を立てることを決意し、一家で旧藩地新治県城中村に移住。

明治6年政変 1873＝ 5歳：

西南戦争・・・1877＝ 9歳：

琉球処分・・・1879＝11歳：牛久小学校下等小学第三級を優等で卒業。上京して、親戚筋に身を寄せ、

・・・1880＝12歳：芝区公立桜田小学尋常科を卒業すると、

明治14年政変1881＝13歳：_本多錦吉郎の画学専門校{彰技堂}に入る。

_働きながら、画業を学び、

内閣発足・・・1885＝17歳：_全科終了。

帝国大学始・・・1886＝18歳：

帝国憲法発布1889＝21歳：

帝国議会始・・・1890＝22歳：_尾崎行雄から推挙されて、{朝野新聞}に挿絵が掲載され、以後、内国勲業博覧会から第1回帝国議会のスケッチを描く。父の隠居で、家督を相続するも東京に留まるが、

足尾鉞毒始・・・1891＝23歳：

郡司千島探検1893＝25歳：_後ろ髪引かれながら、牛久村に帰り、農業に従事、

日清戦争始・・・1894＝26歳：

日清戦争終・・・1895＝27歳：同村の女性と結婚。

白馬会・・・1896＝28歳：長女が誕生。

教科書疑獄・・・1902＝34歳：長男が誕生。この頃から、_一流文人や画家との交流が始まり、

日比谷公園・・・1903＝35歳：*{読売新聞}の懸賞絵画で1等になり、元旦の紙面を飾る。以後、{いはらき}に短文や挿絵を掲載し始め、

日露戦争始・・・1904＝36歳：父が死去。_幸徳秋水を知り、{週刊平民新聞}にも風刺漫画や俳句を発表し始め、廃刊まで続ける。

日露戦争終・・・1905＝37歳：

満鉄発足・・・1906＝38歳：母が死去。

韓国反日暴動1907＝39歳：東亜新報社に入社し、東京住まいとなり、以後、牛久との間を往来し、遠地へも旅行。

アヲキ`創刊・・・1908＝40歳：*最初の著書「草汁漫画」、田岡嶺雲と共著で「有声無声」刊行してから、作品依頼が舞い込むようになり、

伊藤博文暗殺1909＝41歳：三男が誕生。

韓国併合・・・1910＝42歳：_東京毎日新聞のための絵で初めて芋銭子のサイン。{ホトトギス}の挿絵を描き始め、没年まで続ける。大逆事件起こり、嫌疑かけられる。

大逆事件判決1911＝43歳：_東京・大阪の三越で「芋銭未醒(放庵)展覧会」が開かれる。

明治天皇没・・・1912＝44歳：

大正政変・・・1913＝45歳：

_風刺漫画家、河童の画家としてその名を知られるようになり、

21ヶ条要求・・・1915＝47歳：*平福百穂・山村耕花・森田恒友・川端電子らとともに{珊瑚会}を結成してからは、牛久沼をめぐる水魅、河童などの精霊たちを主題とする田園の幻想を水墨表現に託した作品を発表。

ロシア革命・・・1917＝49歳：日本美術院同人となる。

その後も、東京牛久の間を往来し、時々持病に悩まされながらも、全国各地を旅し、画作を続け、短文や俳句とともに、諸誌に掲載される。

大暴落・・・1920＝52歳：北海道を巡歴。

原敬首相暗殺1921＝53歳：奈良・京都を旅行。_クリーブランド美術館主催日本美術院展出品の「水虎とその眷族」や、

水平社結成・・・1922＝54歳：

関東大震災・・・1923＝55歳：_「水魅戯」、

護憲三派圧勝1924＝56歳：_「夕風」、

_「狐の嫁入」などは、百穂、恒友、小杉放庵(未醒)などの新しい水墨表現と並んで、彼が近代文人画表現というべき新しい画境を開拓したことを示している。

共産党事件・・・1928＝60歳：還暦記念画集ができる。

満州事変・・・1931＝63歳：

国際連盟脱退1933＝65歳：東京三越で「芋銭子俳画展覧会」。

芥川直木賞始1935＝66歳：帝国美術院参与。

二二六事件・・・1936＝68歳：*「カッパの芋銭」と親まれたことを示す画集「河童百図」を完成させたが、

日中戦争始・・・1937＝69歳：

健保+総動員 1938＝70歳：_脳溢血で倒れ、まもなく、没した。